



校章の笹竜胆（ささりんどう）は、箕田源氏の旗印です

ささりんどう

鴻巣市立箕田小学校 学校だより
令和5年10月2日

〔学校教育目標〕 ～感動し、共に喜びあえる児童の育成～

児童数
男子 156名
女子 139名
合計 295名



子は親の鏡 ～『子どもが育つ魔法の言葉』から～

校長 清水 良江

9月は真夏のような日差しの強い日が続きました。暑さ指数もすぐに基準を超え、外遊びや運動も制限されることがありましたが、暑さもここまでのようです。最近ようやく秋らしい風を感じるようになってきました。秋は、食べ物がおいしい季節、そして虫の音を聴きながら読書や勉強にも力を入れられる季節でもあります。秋の夜長を有効に活用したいものです。今年は例年になく早い「インフルエンザ流行」の兆しを感じられます。体調管理には引き続き気を付け、お子さんの調子が悪そうだなと思うような時は思いきって休ませ休養させてほしいと思います。みんなが元気に過ごせるよう、教室内でも換気・手洗い・うがい等に気遣っていきます。

さて、子どもをもつ親なら誰しもが子育てに悩んだことがあると思います。かつて自分もそうでした。夕方、学童などへ子どもを迎えに行き、家に帰って食事の準備。宿題を確認して、お風呂に入れ、寝かせる…。毎日が時間との勝負。そんな中ですから、落ち着いて子どもと話をする時間もあまりとれず、何か問題があってもすぐに対応できなかったことを思い出します。今になっては、あの時にしっかりと話を聞いてあげればよかったと反省する日々です。子どもに手がかかるのはほんの一時です。親として子どもから学ぶことはたくさんありましたし、同時に思いがけない貴重な体験もたくさんさせてもらえたと思っています。ですから、もっと楽しみながら子育てを行えたらよかったと今更ながら思っています。

ちょうど20年くらい前に、私は『子どもが育つ魔法の言葉』（ドロシー・ロー・ノルト、PHP 研究所）という本に出会いました。現在の天皇陛下が子育て中に感銘を受けたということでメディアでも多く取り上げられていました。今でも世界各国で子育てをする親に愛読されているようです。この中で、特に巻頭の詩「親は子の鏡」にはドキッとさせられたことを今でも覚えています。この本には、何気ない日常のことではあるけれども、子育てをする中で親が子どもにどう接すればよいのかが具体的な例をもとに解説されています。そして同時に、子育ての悩みを解決する言葉もたくさん書かれています。改めてこの本を読むと、自分は親としてどう子どもに接するべきか考えることができます。すべてが思った通りにいかないのが子育てです。そしてあとになってやり直しがきかないのも子育てです。しかし子どもはいいことも悪いことも日々親の影響を強く受けて育っていきます。子どもがよりよく成長していけるよう、私たち大人も自信をもって子どもに接していけるようにしたいものです。

ちょっとひと息 ☺

「プライベートゾーン」について ～9月の校長講話から～

9月の講話では、全校の子どもたちに「プライベートゾーン」について、絵を交えながらリモートで話をしました。「プライベートゾーン」とは、水着を着た時に隠れている体の部分のことです。この場所は、人に見せるものではなく、また人にさわられるところではないということ。一人一人の大事な体の一部分なので、逆に相手の「プライベートゾーン」も見たりさわったりしないということを話しました。そして「じぶんのからだをたいせつにするためにできることについて」全員に考えてもらいました。以下、子どもたちの感想を紹介します。

<児童感想>

・水ぎでかくれているところを人にさわらせない。（低学年）
・もし自分の体をさわられそうになったらいやだといいたいです。（低学年）
・人の体も自分の体もすごく大切なのだなと思いました。（中学年）
・自分の体もみんなの体も傷つけないようにこれからも気をつけようと思いました。（中学年）
・自分の体も大切だけど、みんなの体やプライベートゾーンも大切にして、自分がいやなことは相手にやらないように気をつけたいです。（中学年）
・プライベートゾーンをさわられた人の気持ちになってみたら、すごくいやな気持ちになってしまいます。これからは絶対にプライベートゾーンをさわったり見たりしないようにしたいです。またそんな人がいたら「やめな」と言っていきたいです。（高学年）
・さわられた時には、きっぱり自分の気持ちを伝えることが大事だと思いました。しっかり相手に伝えることができたならやめてくれると思うからです。これからさわられることがあれば気持ちを伝えることを大切にしていきたいです。（高学年）

学力・学習状況調査（全国・埼玉県）の結果を配付しました

1学期に実施した学力・学習状況調査（全国・6年生、埼玉県・4～6年生）の結果が返却されました。調査結果の個人票を、先日の個人面談にて配付いたしました。

埼玉県学力・学習状況調査の調査結果の個人票には、次の4点が書かれています。

- ①お子さんの教科に関する調査結果「学力のレベル」がわかります。
- ②5・6年生は、過去の結果と比べた「学力の伸び」を確認することもできます。
- ③学習の基盤となる「規律ある態度」の達成状況がわかります。
- ④学習に関するアドバイスも書かれています。

お子さんと一緒にご覧になり、よかったところや伸びたところをほめてください。また、今回の結果を参考に、県のホームページの「復習シート」を活用して、さらに自分の力を高めていきましょう。（右のQRコードからアクセスできます。）



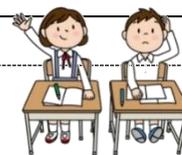
復習シート

なお、来年度より、埼玉県学力・学習状況調査は、これまでの紙ベースのテストではなく、児童用端末上で実施する「CBT (Computer Based Testing) 方式」となります。児童用端末を持ち帰った日には、ドリルパークやまるぐランドで、コンピューター上での回答の操作に慣れたり、タイピング練習で文字入力をスムーズにできるようにしたりしておくとういと思います。

また、6年生は、全国学力・学習状況調査の調査結果の個人票も同時に配付しました。全国学力・学習状況調査の場合は、平均正答数で比較されているので、全国平均正答数と自分の正答数の比較が分かりやすくなっています。

◎児童一人一人の学力（調査結果）に合わせた取組を積み重ねることが必要です！！

基礎基本の定着のために	より一歩上をめざして（活用する力の向上）
<ul style="list-style-type: none">・宿題の確実な実施・繰り返し学習（児童用端末・ドリル等）・読書による読解力の向上	<ul style="list-style-type: none">・家庭学習の充実（<u>テストファイル</u>・<u>復習シート</u>を自主学習に活用、家庭学習強化週間の促進）・知的好奇心を育てる体験や会話
確かな学力の土台となるもの	
<ul style="list-style-type: none">・落ち着いた学習環境づくり（学級と家庭の両方で）・学習用具を忘れない・家庭での読書や学習時間の習慣化	



11月1日は「彩の国教育の日」

お知らせ

県では、教育に関する理解を深めていただくため、11月1日を「彩の国教育の日」、11月1日から7日までを「彩の国教育週間」としています。

例年、県や市町村、学校、社会教育施設、各種団体等で、学校公開や親子向け体験教室などの事業を多数実施していますが、今年度も、コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、多くの事業が自粛されています。このような状況だからこそ、身近な人と「自然」「人」「本」「家族」「地域」の大切さや思い出について語り合ってみませんか。ほっこりした話題で、元気で明るい気持ちになる教育週間にしましょう。

詳しくは県ホームページを御覧ください。

彩の国教育の日

検索



彩の国教育の日

▲シンボルマーク

問合せ：鴻巣市教育委員会学校支援課(TEL 048-544-1214)

：埼玉県教育局生涯学習推進課(TEL 048-830-6972)